

日本文化人類学会会員各位

第28期『文化人類学』書評主任 風間計博

書評の投稿について（依頼）

学会誌『文化人類学』には、毎号書評が掲載されています。第27期までの編集委員会の尽力もあって、近年の学会誌書評は、きわめて充実したものとなっています。第28期編集委員会でも、この状況を継承し益々発展させたいと希望しています。そこで、学会員の皆様には、積極的な書評原稿の投稿をお願いしたいと考えています。

1) 基本方針

書評原稿は、学会員からの自発的な投稿を基本としています。学会への献本があった文化人類学の書籍（次項を参照）を中心に、献本されていない書籍や外国語書籍も書評の対象になりえます。また、隣接分野のものであっても、文化人類学の視点から書評されていれば、会員に対して有益な情報を提供していると考えます。なお、第27期に引き続き、会員の意見交換という観点から、同一書籍に対して、複数の書評が掲載されることも認める方針です。

2) 投稿の手順

学会に献本された書籍は、学会誌巻末「最新の献本情報」及び学会ウェブページ「文献情報」に掲載されています。まず、ウェブページの「文献情報」をご覧ください。「NEW」「(献)」と付されている書籍が、最新の献本です。このなかに書評を希望する書籍がある場合には、編集委員会にご一報下さい。希望者には書評執筆のために、対象書籍をお送り致します。希望が重複した場合には、編集委員会にて決めさせていただきます。また、「(献)」のみが付されている書籍のなかにも、書評希望者にお送りできるものがございます。

3) 合評会成果の投稿

会員が参加する多くの研究会等において、新刊書籍の合評会が行われているものと思います。合評会の成果について、書評原稿として投稿することを前向きにご検討下さい。

献本の希望受付等、書評についての照会は、以下の編集委員会宛にメールをお送り下さい。ご連絡頂く場合、メール本文に、お名前、郵便番号・住所、電話番号、書籍名・著者名を記入して下さい。

会員の皆様には、書評原稿を積極的に投稿して頂けますようお願い致します。

book-review@jasca.org